

平成25年9月19日

北栄町議会
議長 青 亀 恵 一 様

北栄町議会教育民生常任委員会
委員長 浜 本 武 代

教育民生常任委員会調査報告書

本委員会は、次の事件について先進地の調査を終了したので、会議規則第7条の規定により調査結果を次のとおり報告します。

記

- 1 調査事件
 - (1) 認知症支援の取り組みについて
(認知症地域支援体制構築等推進事業)
調査地 香川県小豆郡土庄町 土庄町包括支援センター
- 2 調査期間 平成25年7月31日(水) 1日間
- 3 調査結果及び所感

【香川県土庄町】 認知症地域支援体制構築等推進事業

<調査結果>

人口15,123人（平成22年国勢調査）

高齢化率33.3%

介護保険事業の状況は、サービス利用人数、保険給付費も右肩上がりです。上昇し、施設入所は3年待ち、デイサービスは3カ月待ちとなっている。

一人暮らしの方が認知症になると、火の不始末や指定日以外の日にごみ出しをされるなどの心配がある。また、家族が認知症になると、近所との付き合いや、介護のストレスから虐待に至ってしまうこともある。

このようなことがきっかけで、平成20年度から2年間にわたって「認知症地域支援体制構築等推進事業」に取り組んだ。住民と行政、専門家が協働してまちづくりを進め、準備・計画・周知・実施・評価・報告会の実施までを短期間に推進し、「あったか土庄まちづくりの会」を発足した。

この会は、岩永先生（ヘルスプロモーション研究センター）の指導によるもので、「認知症にならないようにしよう」と頑張っても、なってしまうことがある。「認知症になるとこんなに大変だ」と考えるのではなく、「たとえ認知症になっても、こんな暮らしができる町を作ろう」。そのためには「自分たちの町に何を整えればいいのか。」と知恵を出し合い活動している。

<所感>

この町で本人、あるいは家族が認知症になっても、いきいきとこれまでと同じような生活を送ることができたり、介護者が心にゆとりを持って介護できることが大切である。北栄町も町民との共同のまちづくりを進めているが、全体の図式におととして、それぞれの役割を明確にし、実践していくことが必要である。

